

平成29年度 小川中学校 学校評価報告書

評価項目	評価	取組状況・成果・課題	改善策	学校関係者評価・第三者評価でいただいた意見等
各学校での目標（重点は○数字）・具体策				
I 学校教育目標や学校経営の方針の設定状況				
・愛級、愛校、愛郷の精神を基調として、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒を育成する。	A	・基礎学力向上をめざし、日々の授業改善、ファイトタイム等を実施し生徒の学力向上に努めた。 ・学校が楽しいと感じている生徒の割合が9割を超えた。	・本校の伝統を生かした教育活動を踏まえた教育課程の工夫改善に努める。 ・研究授業等を定期的実施し指導力の向上に努める。	・生徒たちが生き生きと活動している姿が見られる。
・教職員として使命感をもち、情熱と創意工夫にあふれる教育活動を展開する中で5かけの教育を実践する。	A			
・情操豊かな生徒の育成のため、潤いと安らぎのある教育環境づくりに努める。	B			
II 保護者や地域との連携に努める				
・ <u>H Pや学校だより等を通して、保護者や地域に向け、きめ細かに情報提供し開かれた学校づくりに努める。</u>	A	・学校だより、学年だよりの毎月発行、H Pによる情報発信ができた。 ・総合的な学習の時間において、なす風土記の丘職員、町社会福祉協議会と連携した学習を展開することができた。	・さらに開かれ学校をめざし学校の情報をいろいろな機会積極的に発信していく。	・学校の情報がよく発信されている。今後も継続して欲しい。
・地域の教育資源の活用（各教科等、スポーツ活動等）	A			
III 確かな学力の育成に努める				
・基礎的基本的な知識・技能の確実な習得(とちぎっ子・全国学力学習状況調査等)	B	・指導を継続することで家庭学習が身についてきた。 ・グループ学習、話し合い、発表などを積極的に取り入れる。 ・英語科でデジタル教科書を積極的に活用した授業を行った。 ・ファイトタイムの問題では那珂川町の基礎基本の内容から変化していき各教科工夫できた。	・主体的・対話的な学習活動を意識して学習に取り入れていく。 ・各教科におけるICTの活用を進める。	・新しい学習指導要領に対応できるようしっかり準備して欲しい。
・主体的・協働的に学ぶ学習の推進	B			
・ICT活用による課題解決を重視した学び	B			
・ファイトタイムの充実	A			
IV 豊かな心の醸成に努める				
・教え育てる道徳教育の推進	B	・道徳の教科化を見据えての教材研究・授業研究会など組織的に取り組むことが必要である。 ・生徒会によるあいさつ運動を年間通して実施することができた。 ・朝の読書の時間は個人まかせなので良書の提案が必要である。 ・ハートフルタイムの見直しをする。	・道徳の指導法や評価についてさらに校内研修を進めていく。 ・生徒の実態に応じたハートフルタイムの工夫改善を行う。	・生徒たちはよくあいさつをしてくれる。 ・豊かな心を育てるためにも道徳教育には力を入れて欲しい。
・あいさつ、読書活動、体験活動の充実	A			
・ハートフルタイムの推進	B			

平成２９年度 小川中学校 学校評価報告書

V 健やかな体の育成に努める				
・生活習慣の乱れや心の問題等への適切な対応をし、心身ともに健康な生活維持	A	・定期的に教育相談を実施し生徒の悩みに対して適切な対応ができた。	・情報モラルについて全生徒の意識を高めるために講演会等を継続して実施する。	・ヘルメットをよくかぶり交通安全に気をつけて自転車に乗っている姿をよく見かけた。
・生徒の実態に応じた体力の向上	B	・情報モラル講演会を実施し生徒の意識を高めることができた。		
・危機回避能力の育成	A	・下校指導を徹底し交通安全意識を高めることができた。		